

令和3（2021）年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	ゼミナールⅣ（Seminar Ⅳ） 264046-14000					担当教員	鯉江 康正 （コイエ ヤスマサ）		
科目区分	ゼミナール科目	必修・ 選択区分	必修	単位数	2	配当年次	4年次	開講期	通年
科目特性	地域志向科目／課題解決型 AL								

① 授業のねらい・概要									
<p>本ゼミナールは、本学の教育プログラムの一つである「学生による地域活性化プログラム」として実施する。したがって、ゼミでは、①問題解決型教育＝体験・参加型教育の実践として、②「まちの駅」をテーマとしてとりあげ、③ゼミ生と学外アドバイザーとの緊密な連携をとり、④専門知識とスキルを応用してフィールド調査等の作業を行い、⑤地域活性化に貢献することを目的として活動していく。</p>									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
<p>地域社会に貢献する姿勢／職業人として通用する能力／専門的知識・技能を活用する能力／コミュニケーション能力を養う／情報収集・分析力を養う。</p>									
③ 授業の進め方・指示事項									
<p>授業時間外においても学生グループでヒアリング活動、ボランティア等への参加を行うことがあり、これらの活動について報告書の作成と提出を求める。すべてグループワークとなるので、他のメンバーに迷惑をかけること。</p>									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
特になし									
⑤ 標準的な達成レベルの目安									
<p>(i) 社会人基礎力を養う（前に踏み出す力：主体性を持って行動できるようになる。考え抜く力：課題を発見し、それに対する解決策を考えられるようになる。チームで働く力：社会のルールや人との約束を守ることは当然のこととして、相手の話を丁寧に聴きつつ、自分の意見を伝えられるようになる。</p> <p>(ii) 地域社会に貢献するとともに、感謝される行動をする。</p> <p>(iii) 活動を正確に伝えられる報告書の作成。</p>									
⑥ テキスト（教科書）									
特になし。必要に応じてプリントを配布する。									
⑦ 参考図書・指定図書									

過去のゼミ活動報告書								
⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法								
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・ 実技	授業への 参加・意欲	その他	合計
総合評価割合			70%			30%		100%
(i) 社会人基礎力を養う			20%			10%		30%
(ii) 地域社会に貢献するとともに、感謝される行動をする。			20%			10%		30%
(iii) 活動を正確に伝えられる報告書の作成。			30%			10%		40%
フィードバックの方法	提出された報告書等は、添削して返却する。							

⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）	
できる限る学生の自主性に任せるつもりではあるが、課題の提出等厳しく対処するようにする。	

⑩ 授業計画と学習課題				
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間（分）	
1	オリエンテーション		ゼミ名簿、授業予定・アルバイト予定表の作成	30分
2	これまでのゼミの取り組み紹介	昨年度の報告書	過年度活動の理解と確認事項の洗い出し	60分
3	活動計画の作成	昨年度の報告書	活動内容の検討を行ってこること	30分
4	実課題への取り組み①（活動計画の決定）	前回までの決定事項資料	活動計画書の作成	90分
5	実課題への取り組み②（ヒアリング準備）	前回までの決定事項資料	ヒアリング先へのアポイントメント	90分
6	実課題への取り組み③（ヒアリング結果の確認）	前回までの決定事項資料	学園祭での企画の検討。「まちの駅」へのヒアリング調査。	90分
7	実課題への取り組み④（ヒアリング結果の確認）	前回までの決定事項資料	「まちの駅」へのヒアリング調査。ヒアリング結果のまとめとパネルの作成	120分

8	実課題への取り組み⑤（オール新潟まちの駅大会企画の概略検討）	前回までの決定事項資料	「まちの駅」へのヒアリング調査。ヒアリング結果のまとめとパネルの作成	120分
9	実課題への取り組み⑥（オール新潟まちの駅大会企画の詳細検討）	前回までの決定事項資料	「まちの駅」へのヒアリング調査。ヒアリング結果のまとめとパネルの作成	120分
10	実課題への取り組み⑦（ヒアリング結果の確認）	前回までの決定事項資料	「まちの駅」へのヒアリング調査。ヒアリング結果のまとめとパネルの作成	120分
11	実課題への取り組み⑧（ヒアリング結果の確認）	前回までの決定事項資料	「まちの駅」へのヒアリング調査。ヒアリング結果のまとめとパネルの作成	120分
12	中間レビューに向けた準備活動①（ヒアリング結果の整理）	前回までの決定事項資料	各自の担当箇所の資料作成	60分
13	中間レビューに向けた準備活動②（発表資料の作成）	前回までの決定事項資料	ゼミ生による発表資料の調整	90分
14	中間レビューに向けた準備活動③（発表原稿の作成）	前回までの決定事項資料	発表資料・原稿の作成	90分
15	中間レビューに向けた準備活動④（発表の練習）	前回までの決定事項資料	「とうきび観音まつり」への参加（ボランティア）	300分
16	◆中間レビュー	前回までの決定事項資料	中間レビューを受けての今後の活動方針の決定	30分
17	実課題への取り組み⑨（中間レビューからの気づき）	前回までの決定事項資料	オール新潟まちの駅大会の準備	90分
18	実課題への取り組み⑩（オール新潟まちの駅大会の準備）	前回までの決定事項資料	オール新潟まちの駅大会の実施	240分
19	実課題への取り組み⑪（オール新潟まちの駅大会からの気づき）	前回までの決定事項資料	ボランティア、オール新潟まちの駅大会の報告書作成	120分
20	実課題への取り組み⑫（学園祭準備）	前回までの決定事項資料	学園祭の実施	360分
21	実課題への取り組み⑬（学園祭のまとめと気づきの整理）	前回までの決定事項資料	ハロウィンみつけへの参加（ボランティア）	300分
22	実課題への取り組み⑭（ハロウィンみつけのまとめと気づきの整理）	前回までの決定事項資料	今町ハロウィンへの参加（ボランティア）、成果発表会資料の作成	300分
23	成果発表会に向けた準備活動①（今町ハロウィンのまとめと	前回までの決定事項資料	越路マップの配布（ボランティア）、成果発表会資料の作成	240分

	気づきの整理)			
24	成果発表会に向けた準備活動②(越路マップ配布のまとめと気づき)	前回までの決定事項資料	成果発表会資料の作成	90分
25	成果発表会に向けた準備活動③(成果発表会の準備)	前回までの決定事項資料	成果発表会の予行練習	120分
26	成果報告書原稿および次年度の活動計画の作成①(成果発表会のまとめと気づき)	前回までの決定事項資料	報告書目次案の作成と担当分担の検討	90分
27	成果報告書原稿および次年度の活動計画の作成②(報告書の作成)	前回までの決定事項資料	各自の報告書担当分の作成	60分
28	成果報告書原稿および次年度の活動計画の作成③(報告書の作成)	前回までの決定事項資料	各自の報告書担当分の修正	60分
29	成果報告書原稿および次年度の活動計画の作成④(報告書の修正)	前回までの決定事項資料	報告書の全体調整	120分
30	成果報告書原稿および次年度の活動計画の作成⑤(報告書の完成)	前回までの決定事項資料	報告書の最終チェック	30分

⑪ アクティブラーニングについて
課題解決型 AL を採用する。課題をゼミ生自らが発見し、協働でフィールドワークを実施し、社会人基礎力を養っていく。最終的には活動報告という形で報告書を作成する。

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
実務経験と授業科目との関連性

